

# 猪苗代町と熊本県小国町が 友好都市に

## 小国町ってどんなところ？

令和7年10月24日、猪苗代町合併70周年記念式典の日に、本町と熊本県小国町は、友好都市の締結を行います。

本町出身の野口英世博士と小国町出身の北里柴三郎博士は新旧千円札の肖像に採用されており、2人とも医学者で師弟関係にあります。今回の友好都市締結は、そのような縁から熊本県小国町にお声がけし、始まりました。

熊本県小国町と猪苗代町は、偉人である両博士の功績を広く発信し、その偉業を後世に伝えていくことはもちろん、歴史、文化、産業、観光とあらゆる面で交流を深めていくことを検討しています。

しかし、私たちはお互いの町のことを詳しく知っているというわけではありません。

これから本町とさらに深い関わりを持っていく熊本県小国

町。今月号では、その小国町の魅力の一部を皆さんにご紹介します。

## 北里柴三郎記念館

言わずと知れた「近代日本医学の父」、世界的な細菌学者としても名高い北里柴三郎博士の記念館。

映像やデジタルコンテンツをとおして、博士の生涯と偉業を現在に伝えるドネル館、郷里の子どものために博士が私財を投じて設立した図書館である北里文庫、帰省の際の居宅、賓客をもてなすための邸宅として大正5年に建てられた貴賓館など、博士の偉業や人となりを感じられる施設です。

## 鍋ヶ滝

幅約20m、高さ約10mの小国町を代表する滝。滝の裏側の空間は幅約45m、奥行13mととても広くなっています。

これは鍋ヶ滝が、阿蘇のカル



鍋ヶ滝



ドネル館



北里文庫



わいた温泉郷

デラを形成した火山灰が凝結した岩石でできており、長い年月をかけて岩石の下の柔らかい地層が水に削られたためです。鍋ヶ滝は、時間制による入場制限が設けられているため、ゆっくと阿蘇の大地の息吹に触れられる、マイナスイオンたっぷりの癒しの空間となっています。

## 温泉

小国町には多くの温泉がありますが、特に大きいのは、わいた温泉郷と杖立温泉です。わいた温泉郷は、涌蓋山のふもとにある豊富な地熱を源にした温泉地帯。それぞれ泉質が異なる6つの湯処があり、地上に噴き出す温泉蒸気で蒸し料理も楽しめます。



杖立温泉

杖立温泉は、開湯1800年という歴史を誇る九州の奥座敷。杖立川の両側に旅館が軒を連ねる姿は、それだけで絵になる昭和レトロ感あふれる温泉です。

## 小国杉

小国町の産業で真っ先に挙げられるのは、九州のブランド杉として知られる「小国杉」で、その歴史は、250年前の江戸時代から続いています。寒暖差の大きい気候に恵まれて育った杉は、木目が美しく強度に優れ、建築材として使われています。

秋の観光シーズンに旅行を考えている町民の皆さん、行き先の候補に熊本県小国町を加えてみてはいかがでしょうか。

●小国町町章



●小国町町民憲章

さわやかなあいさつと ねぎらいのわをひろげよう  
うけついで美しい自然を守り 後世に伝えよう  
郷土の歴史を学び 文化の香る町にしよう  
すこやかでいきいきとした青少年をはぐくもう  
のびゆく社会を見つめ 創意あふれるまちにしよう

【熊本県小国町の基本データ】

九州のほぼ中央、熊本県の最北端、阿蘇外輪山の外側にあり、筑後川の上流に位置しています。東西北部を大分県、南部を南小国町に隣接し、東西18キロ、南北11キロ、総面積は136.72km<sup>2</sup>、総面積の74%を山林が占める農山村地域で、人口は約6,200人です。

夏は涼しく冬は厳しい高冷地帯(平均気温約13℃)であり、雨も多く年間降雨量は2,300mm、多雨多湿で森林の成育に適しています。

町の木はスギ、町の花はエビネ、町の鳥はヤマガラ。



地理院タイルを加工して使用

▼問い合わせ先  
企画財務課 企画調整係  
☎(62)2112